

「当院における超細径大腸内視鏡(PCF-PQ260L)の有用性の検討」に 関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施される
ものです。

研究期間:2020年3月16日 ~ 2022年12月31日

〔研究課題〕

当院における超細径大腸内視鏡(PCF-PQ260L)の有用性の検討

〔研究目的〕

挿入困難例、狭窄症例における通常大腸内視鏡スコープに代わる超細径大腸内視鏡(PCF-PQ260L)の有用性と安全性を明らかにします。

〔研究意義〕

従来は内視鏡的挿入困難例に対し、細径の上部内視鏡が使用されていましたが、超細径大腸内視鏡による安全性・有用性が高いことを明らかにします。

〔対象・研究方法〕

2015年10月から2019年11月までに当院で施行した超細径大腸内視鏡(PCF-PQ260L)を使用した症例を対象とし、年齢、性別、検査理由、盲腸到達までの挿入時間、鎮静剤・鎮痙剤使用の有無、疼痛の有無と程度、偶発症発生の有無などの安全性、有用性を調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。個人情報が病院外に持ち出されることはありません。

〔その他〕

対象となる患者様で、ご自身の情報の使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 綱島弘道（帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 助教）

住所： 川崎市高津区二子 5-1-1 TEL： 044-844-3333(代表) [内線 3487]